# 福知山市新文化ホール整備 基本構想・基本計画検討委員会 (第1回)

2022 (令和4) 年 7月22日 (金)

# もくじ

- 1. 新文化ホール整備基本構想・基本計画検討にあたっての経過
- 2. 新文化ホール整備基本構想・基本計画検討内容について
- 3. 文化芸術に関する社会的潮流の分析
- 4. 厚生会館の現状と課題の整理
- 5. 新文化ホール整備基本構想・基本計画検討スケジュール

参考資料

# 1. 新文化ホール整備基本構想・基本計画検討にあたっての経過

# これまでの経過

年度	事項	内容
1962(昭和37)年	厚生会館建設	11月22日開館。 鉄骨・鉄筋コンクリート造(SRC)4階建て、敷 地面積2964㎡、建築面積2170㎡。
1982(昭和57)年	文化芸術会館建設基 金設立	積立額6億2,787万円(R3年度末現在高)、う ち文化団体寄附金額3295万円。
2000(平成12)年~ 2001(平成13)年	厚生会館大規模改修 工事	内外装の改修、防音化、エレベーター設置、 音響・照明器具更新、施設バリアフリー化等。 10月31日リニューアルオープン。
2010(平成22)年	「中心市街地活性化基本計画」策定	2011(平成23)年3月策定。
2013(平成25)年	厚生会館改修に伴う聞 き取り調査	福知山市文化協会加盟団体と各種民間団体。
2015(平成27)年	厚生会館改修工事基 本設計·実施設計	
2016(平成28)年	厚生会館改修工事見 送り	老朽箇所及び耐震補強部位が多く、当初予 定していた経費より大幅に超過することが判 明したため。 「文化振興基本方針」の中で文化施設のあり 方を含めて再検討する。

# これまでの経過

年度	事項	内容
2017(平成29)年	文化芸術振興基本方針 策定委員会	3回開催。
	市民意識調査実施 文化芸術振興基本方針 策定委員会	5回開催。
2018(平成30)年	「文化振興基本方針」策 定	2019(平成31)年3月策定。文化活動の核となる文化ホールについて、新たな建設も含め検討、と位置付ける。
2020(令和2)年	新文化ホール整備推進 会議	庁内関係課課長レベルでのPT実施。
2021(令和3)年	新文化ホール整備推進 会議	新文化ホールの基本的な方向性(案)作成。
2022(令和4)年	新文化ホール計画策定 事業実施 福知山市新文化ホール 整備基本構想・基本計画 検討委員会	

# 2. 新文化ホール整備基本構想・基本計画 検討内容について

# 基本構想の検討内容(案)

- ・基本理念 基本理念と施設が果たすべき基本的な役割
- ・施設等の概要 施設の機能と構成 施設規模 駐車場等 建設地の要件
- ・管理運営の考え方

# 基本計画の検討内容(案)

- ・施設計画 施設の機能と構成 施設規模 駐車場等 建設予定地
- ・管理運営の考え方
- ・概算事業費
- ・事業スケジュール

# 3. 文化芸術に関する社会的潮流の分析 3-1.これまでの状況の整理

# 文化芸術関連状況(1990~1999)

```
1990 (H 2) 年 2月 企業メセナ協議会 設立
1990(H 2)年 3月 芸術文化振興基金 創設(文化庁)
1991 (H 3) 年 4月 利用料金制度の導入
1994(H 6)年 9月 財団法人地域創造 設立
1995(H 7)年 9月 第1回芸術見本市 開催
1995 (H 7) 年 7月 『新しい文化立国をめざして-文化振興のための
              当面の重点施策について - 』 文化政策推進会議
1996 (H 8) 年
              芸術創造推進事業(アーツプラン21)創設
1998 (H10) 年 3月 文化振興マスタープラン 策定
1998(H 1 0 )年12月 特定非営利活動促進法(N P O 法)施行
1999 (H11)年 3月 『新しい文化立国の創造をめざして 文化庁30年史』
1999 (H11) 年 9月 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の
                     促進に関する法律(PFI法)施行
```

# 文化芸術関連状況(2000~2009)

```
2001 (H13) 年 1月 文化庁長官に河合隼雄氏就任
2001(H13)年12月 文化芸術振興基本法制定
2002 (H14) 年12月 文化芸術の振興に関する基本的な方針
                             (第1次基本方針)
2002(H14)年
             文化芸術創造プラン(新世紀アーツプラン)
2003 (H15) 年 9月 指定管理者制度の導入
2004 (H16) 年
             創造都市ネットワーク事業
2004 (H16) 年
             文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)
2005(H17)年
             公共ホール等活性化支援事業
2006 (H18) 年12月 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する
             法律(バリアフリー法)
2007 (H19) 年 2月 文化芸術の振興に関する基本的な方針
                           (第2次基本方針)
2008(H20)年
             文化カプロジェクト開始
```

## 文化芸術関連状況(2010~)

```
2010(H22)年
             優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業
2011 (H23) 年 2月 文化芸術の振興に関する基本的な方針
                              (第3次基本方針)
2012 (H24) 年 6月 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律
2012(H24)年
             地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業
2012(H24)年
             高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築
             設計標進
2013 (H25) 年 3月 劇場、音楽堂等の事業の活性化のための
                          取り組みに関する指針
2013(H25)年
             劇場、音楽堂等活性化事業
2014 (H26) 年 3月 文化芸術立国中期プラン
            ~2020年に、日本が「世界の文化芸術の交流のハブ」となる~
2015 (H27) 年 2月 文化芸術の振興に関する基本的な方針 (第4次基本方針)
             - 文化芸術資源で未来をつくる-
```

# 文化芸術関連状況(2010~)

```
2015 (H27) 年 文化芸術グローカル化推進事業
2017 (H28) 年 3月 「未来創造 福知山 |
2017 (H29) 年 6月 文化芸術基本法
2018 (H30) 年 3月 文化芸術推進基本計画 (第1期)
2018 (H30) 年 6月 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律
2018 (H30) 年 6月 国際文化交流の祭典の実施の推進に関する法律
2020(H31)年 3月 福知山市文化振興基本方針
2021 (R2) 年 7月 福知山市公共施設マネジメント後期実施計画 (R2~R6)
2022 (R4) 年 3月 まちづくり構想 福知山
```

# 劇場、音楽堂等の定義・役割

#### (定義)

#### 第二条

この法律において「劇場、音楽堂等」とは、文化芸術に関する活動を行うための施設 及びその施設の運営に係る人的体制により構成されるもののうち、

その有する創意と知見をもって実演芸術の公演を企画し、又は行うこと等により、

これを一般公衆に鑑賞させることを目的とするものをいう。

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」 (平成24年6月27日法律第49号)

#### (役割)

劇場、音楽堂等は、文化芸術を継承し、創造し、及び発信する場であり、人々が集い、 人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が共に生きる絆を形成するための 地域の文化拠点である。

また、劇場、音楽堂等は、個人の年齢若しくは性別又は個人を取り巻く社会的状況等にかかわりなく、全ての国民が、潤いと誇りを感じることのできる心豊かな生活を 実現するための場として機能しなくてはならない。

その意味で、劇場、音楽堂等は、常に活力ある社会を構築するための大きな役割を担っている。

# 劇場、音楽堂等の役割

さらに現代社会においては、劇場、音楽堂等は、人々の共感と参加を得ることにより 「新しい広場」として、地域コミュニティの創造と再生を通じて、地域の発展を支える機能も 期待されている。

また、劇場、音楽堂等は、国際化が進む中では、国際文化交流の円滑化を図り、国際社会の発展に寄与する「世界への窓」にもなることが望まれる。

このように、劇場、音楽堂等は、国民の生活においていわば公共財ともいうべき存在である。

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」前文

- 9 文化芸術拠点の充実等
- (1)劇場, 音楽堂等の活性化

劇場,音楽堂等は,文化芸術を継承,創造,発信する場であるとともに,人々が集い, 人々に感動と希望をもたらし,人々の創造性を育み,人々が共に生きる絆を形成するための 地域の文化拠点である。

また、個人を取り巻く社会的状況等にかかわりなく、全ての国民が、潤いと誇りを 感じることのできる心豊かな生活を実現するための場であるとともに、

社会参加の機会を開く社会包摂の機能を有する基盤として、常に活力ある社会を構築するための大きな役割を担っている。

さらに、劇場、音楽堂等は、地域コミュニティの創造と再生を通じて地域の発展を支える機能や、 国際文化交流の円滑化を図り国際社会の発展に寄与する役割も期待されている。

## 劇場、音楽堂等の建設状況(2010~)

- 2010年 オリンパスホール八王子(駅前再開発)
- 2012年 東急シアターオーブ(ミュージカル専用劇場)/フェスティバルホール(関西のメインホール)
- 2013年 ホルトホール大分(複合文化交流施設)
- 2016年 ロームシアター京都 (歴史的劇場のリニューアル)
- 2017年 大和市文化創造拠点・シリウス(年間300万人の利用者) 釜石市民ホールTETTO (震災復興プロジェクト)
- 2018年 札幌市民交流プラザ (札幌文化芸術劇場/札幌文化芸術交流センター/ 札幌市図書・情報館)
- 2019年 渋谷公会堂 (区有地に定期借地権を設定し整備費ゼロ) スターツおおたかの森ホール (区有地とホールを等価交換)
- 2020年 立川ステージガーデン(新音楽ホール、ホールと野外劇場の一体化) さいき城山桜ホール(市民参加型複合交流施設)
- 2021年 箕面市立文化芸術劇場(指定管理者+運営受託企業) KDDI維新ホール-山口市産業交流拠点施設-(PPP、スマートホール)
- 2022年 あきた芸術劇場(県・市連携による施設整備)
- 2023年 扇町ミュージアムキューブ (シアターコンプレックス)

# 3. 文化芸術に関する社会的潮流の分析 3-2. 文化芸術の潮流の分析

## これまでの劇場の流れ

## 第一世代=施主の時代

- ■公会堂•市民会館
  - 大会、集会が主目的「大きな客席、小さな舞台」 1968年6月 文化庁設置
- ■文化会館、文化センター 多目的ホール「多目的は無目的」

## 第二世代=芸術家の時代

■主目的ホール

多目的ホールから主目的ホールへ

舞台空間・舞台特殊設備の充実/走行式音響反射板と可動プロセニアム

■パフォーミングアーツセンター

複数の専用ホールを設置・・・コンサートホール、オペラハウス、劇場、 実験小劇場など、複数の専用ホール

創造部門の充実・・・練習室、稽古場、製作場、情報センター等

## 第三世代=観客の時代、創客の時代

■地域劇場・パブリックシアター・・・市民参加、市民参画、市民が主役 日常的なにぎわいの創出、まちづくり、ひとづくり 1994年9月 財団法人地域創造設立

## 施設計画における最近の特徴

### (1)施設改修·改築計画

施設の老朽化、高機能化/特定天井

国立劇場、パルテノン多摩、ミューザ川崎、サントリーホールなど

## (2)建設費の高騰

工事入札の不調/新たな発注方式

荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館)、小田原市芸術文化創造センター、 四国中央市市民文化ホール、藍住町文化ホールなど

### (3)都市再開発事業内文化施設

他機能との複合化/事業の長期化

札幌市民交流プラザ、熊本城ホールなど

## (4) 民間活力の導入

PFI方式/等価交換·定期借地権

ホルトホール大分、東大阪市新市民会館、

渋谷公会堂、流山おおたかの森駅前多目的ホールなど

## 施設計画における最近の特徴

#### (5) 複合文化施設化

文化施設(図書館、美術館)、他部署所管施設(スポーツ、子育て、観光) との複合化

由利本荘市文化交流館、大和市芸術創造拠点、中野サンプラザ、 川崎市スポーツ・文化センター カルッツかわさき、ホルトホール大分など

## (6)MICE機能

ホールの大型化/コンベンション機能

水戸市新市民会館、姫路市文化コンベンション施設、熊本城ホールなど

## (7)民間事業

都市開発内のにぎわい機能、文化貢献機能、収益機能 浦安音楽ホール、新山口駅北地区拠点施設など

## (8) 震災復興計画

文化機能の復興(心のやすらぎ、絆、交流)/防災機能 釜石市民ホール、石巻市複合文化施設、陸前高田市市民文化会館など

## 管理運営計画における最近の特徴

(1) 国の動き

法の整備/補助金制度の充実 劇場法、文化芸術立国、文化カプロジェクト、文化プログラムなど

- (2)管理運営主体 指定管理者制度の見直し/専門家の登用 指定管理者制度の見直し、芸術監督・技術監督の登用など
- (3) 市民参加システム サポーター制度/専属上演団体の設立 サポーターズ倶楽部、ジュニア・シニアの上演団体設立など
- (4)複合化への対応 設置条例/所管部署

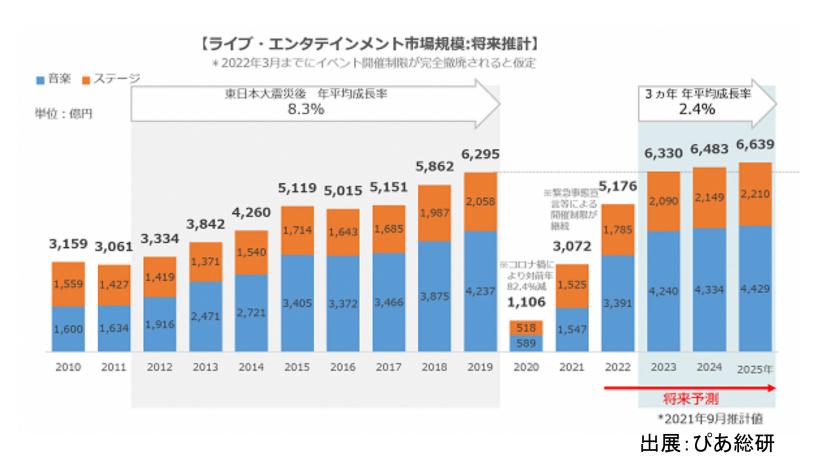
複合施設の設置条例、予算措置の合理化など

(5)教育システム

アート教育/アートマネジメント教育/スタッフ研修制度 兵庫県立国際観光芸術専門職大学 芸術文化観光学科 (2021年度開学)

## 新型コロナウイルスの影響

## 今後のライブエンタテインメント市場予想



- ・ 新型コロナウイルスの影響によって市場の約8割が消失している
- ・2023年頃にようやくコロナ禍前の水準まで戻ることが推計されている

## 公立文化協会の対策ガイドライン

- 劇場、音楽堂における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン (令和3年10月15日付改定)
  - ・ 感染防止のための基本的な考え方
  - ・ すべての主体に共通して求められる基本的な感染防止策
  - ・ 施設管理者が講ずるべき具体的な感染防止策
  - ・ 公演主催者に協力を求める具体的な感染防止策
- ・ 感染症対策チェックリスト
  - ・ 劇場・音楽堂等の感染症防止対策チェックリスト
- 劇場・音楽堂等感染症基本対応チェックブック
  - ・ 劇場・音楽堂等の感染症防止対策における基本事項を解説

## 政府のイベント開催制限の考え方

### 令和4年7月15日付けの催物の開催制限について

感染状況に応じたイベント開催制限等について

		安全計画策定 (注1)	その他 (安全計画を策定しないイベント)
下記以外	人数上限(注2)	収容定員まで(注3)	5,000人又は収容定員50%のいずれ か大きい方
の区域	収容率上限 (注2)	100% (注4)	大声なし: 100% 大声あり: 50%
重点措置	人数上限(注2)	収容定員まで(注3)	5,000人
区域	収容率上限 (注2)	100% (注4)	大声なし : 100% 大声あり : 50%
	時短	原則要請なし(注5)	原則要請なし(注5)
緊急事態 措置区域	人数上限(注2)	10,000人 (対象者全員検査により、収容定員まで追加可) (注 6 ) (注 7 )	5,000人
	収容率上限 (注 2 )	100% (注4)	大声なし:100% 大声あり:50%

※遊園地やテーマパーク等については、都道府県知事の判断により、上記の緊急事態措置区域、重点措置区域と同様の制限を適用することも可能

(注1)参加人数が5,000人超かつ収容率50%超のイベントに適用(緊急事態措置区域、重点措置区域においては、5,000人超)

(注2) 収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度(両方の条件を満たす必要)

(注3)地域の実情に応じて、都道府県知事の判断により、人数上限の制限を行うことも可能とする

(注4) 安全計画策定イベントでは、「大声なし」の担保が前提

(注5) 都道府県知事の判断により要請を行うことも可能

(注6) 対象者全員検査における検査結果の陰性を確認する対象者は、定められた人数上限を超える範囲の入場者とする

(注7) 都道府県の判断により、対象者全員検査の活用を行わないことも可能

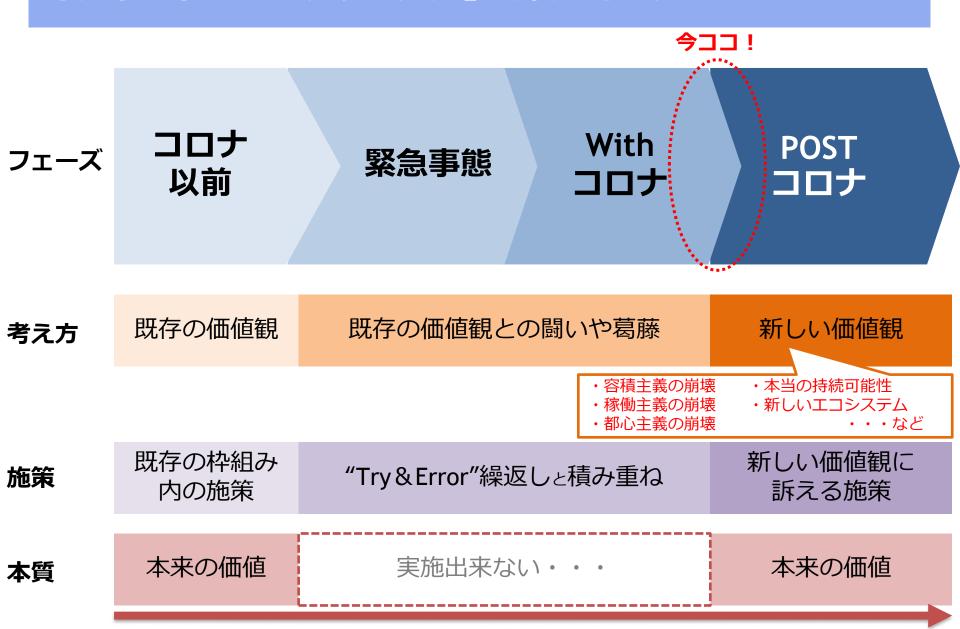




各都道府県・地域の感染状況を十分に踏まえ、 イベントの種類、公演の態様や開催施設の特性に応じ、 また各種ガイドライン等に基づく感染防止策を実施したうえで イベント・公演 を開催している状況

東京都防災ホームページより

## ポスト「新型コロナウイルス」時代のホール



# 4. 厚生会館の現状と課題 4-1.施設の概要

# ①施設概要

開館 : 1962年

(2001年大規模改修)

構造 : RC造

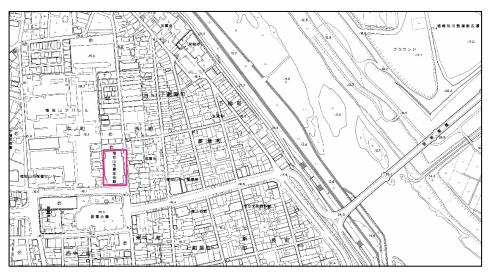
地上3階、地下1階

最高高さ: 17.2m 敷地面積: 2,964㎡ 建築面積: 2,170㎡ 延床面積: 3,763㎡

駐車場 : 10台

(グンゼアパレル80台、 御霊パーキング215台)

#### 周辺図







# ①施設概要

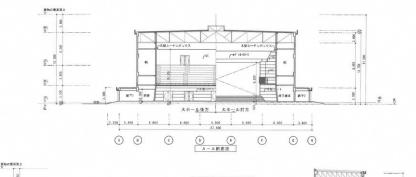
#### 大ホール

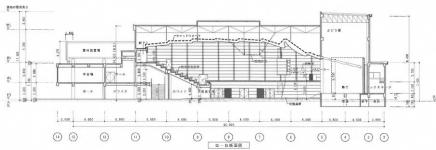
- ■形式 プロセニアム形式
- ■客席 1,002席
  - ・1階 平土間可動席 696席
  - ・2階 固定席 204席
  - ・3階 固定席 102席
- ■舞台 間口17m(幕開口14.4m)、 奥行8m、高さ6.5m

面積360㎡

(W30m×D12m×H11.5m)

- ■座席・1階 椅子500mm、前後間隔900mm
  - · 2階 椅子530mm、前後間隔900mm





断面図







# ①施設概要

#### 活動諸室

<u>/u #)                                   </u>			
中会場	小会場(1)	小会場(2)リハーサル室	和室
155.55m²	39.40m²	87.58m²	65.00m <sup>2</sup>
90席	10席	50席	18畳・6畳





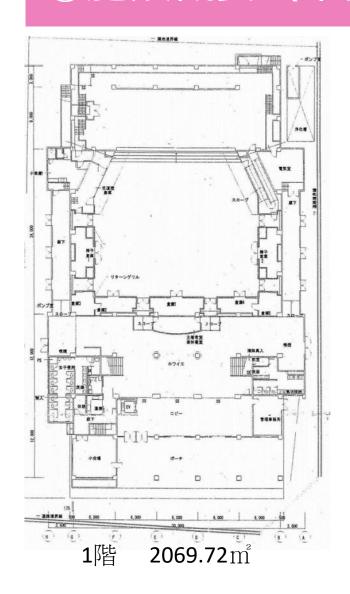


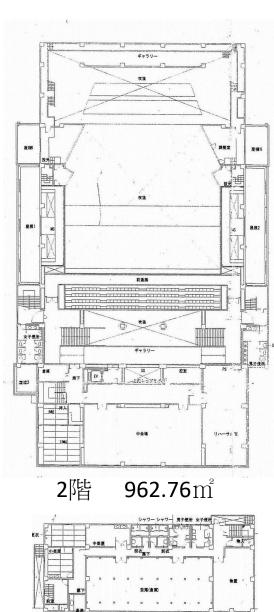


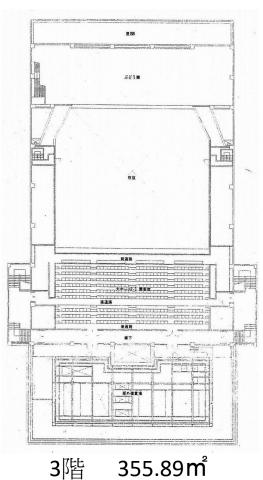
付属諸室 2,492.97㎡ 楽屋2、控室2、脱衣2、倉庫6、便所4、ホワイエ、ロビー、ポーチ等

楽屋 2室	控室 2室	<b>脱衣室(シャワー) 2室</b>	管理事務室
			32.00m <sup>2</sup>

# ①施設概要(平面図)







**B1**階 **374.82**m<sup>2</sup>

# ②施設の課題

### ● ホール機能の特殊設備の劣化・性能不足

- ・舞台の袖が狭く、搬出入が不便
- ・バックヤードに大型トラックの搬入口がない
- ・吊物用バトンが少なく、電動化されていない
- ・2階に車いす用の座席スペースがなく、通路で対応している
- ・1階客席がパイプ椅子のため、長時間の鑑賞が困難

など

## ● 他の会場・施設の基本性能不足

- ・楽屋に鏡などの基本的装備がない
- ・会場の防音性能が低い
- ・会場に駐車スペースがない

など

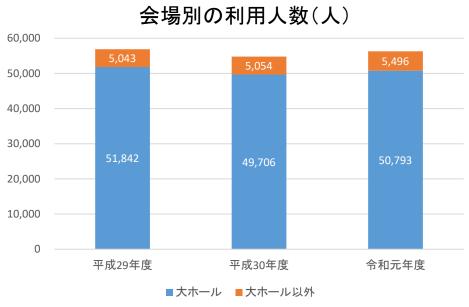
## ● 建物自体の劣化

- ・屋上からの漏水により、舞台袖内にも水受けの設置が常態化
- ・施設備品の故障、不足
- ・バリアフリー環境の不足

など

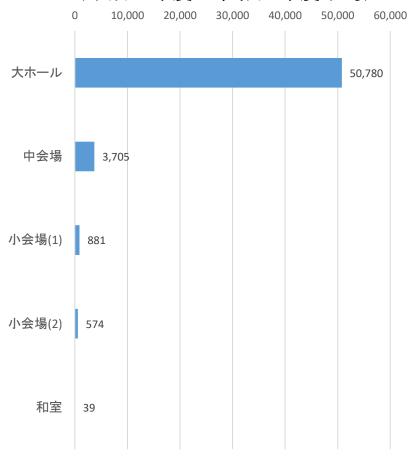
# 4. 厚生会館の現状と課題 4-2.利用状況(平成29年度~令和元年度)

# 利用人数



	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
大ホール	51,842	49,706	50,793	50,780
中会場	3,754	3,272	4,088	3,705
小会場(1)	931	939	772	881
小会場(2)	290	810	621	574
和室	68	33	15	39
利用人数計	56,885	54,760	56,289	55,978

# 会場別の利用人数(人) (平成29年度~令和元年度平均)



#### 会場別利用人数(日単位)

- 年間利用者は、そのほとんどを大ホールが占めている。
- 平成29年度~令和元年度の3年度では、利用人数に大きな変動はない。

# 月別の利用状況(利用回数・人数)





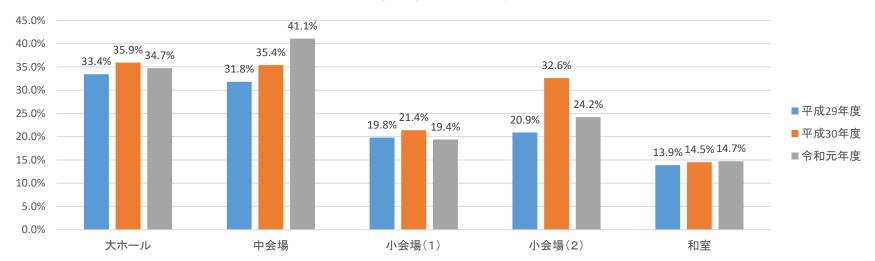
#### 会場別利用回数(平成29年度~令和2年度)

	大ホール		中会場		小会場(1)		小会場(2)		和室			合計(回数)						
月	平成29 年度	平成30 年度	令和元 年度															
4	20	29	28	34	19	28	17	18	25	23	19	25	0	6	0	94	91	106
5	3	7	22	17	19	19	4	4	10	0	10	18	0	3	10	24	43	79
6	2	3	6	7	12	27	6	5	6	5	5	13	2	3	2	22	28	54
7	29	15	34	13	12	18	9	4	17	6	6	13	3	4	6	60	41	88
8	25	30	23	18	17	15	17	16	7	17	7	6	8	4	3	85	74	54
9	22	32	13	20	21	31	12	10	11	15	23	9	3	6	7	72	92	71
10	52	57	48	34	47	47	14	17	17	37	50	43	83	78	87	220	249	242
11	40	32	40	26	27	22	12	16	19	20	25	19	17	15	19	115	115	119
12	24	26	27	11	9	12	21	28	16	14	12	8	5	2	5	75	77	68
1	21	23	24	12	15	16	15	7	9	9	12	7	2	2	2	59	59	58
2	21	20	22	11	12	34	11	7	4	7	12	12	3	2	2	53	53	74
3	26		0	15	19	2	14	13	0	9	19	2	8	7	0	72	83	4
計	285	299	287	218	229	271	152	145	141	162	200	175	134	132	143	951	1,005	1,017

- 会場により異なるが、大きく春、秋にピークがある
- 令和元年度3月は、コロナの影響を受け、利用が極端に減少している

# 利用日数および稼働率(日)





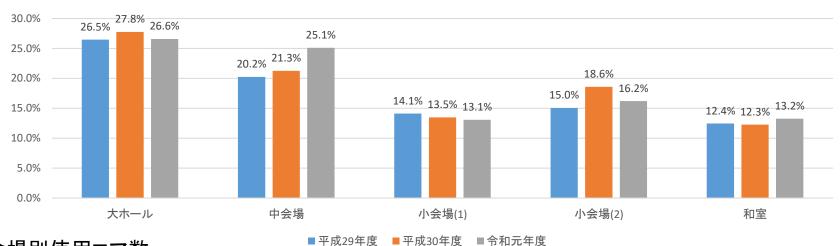
#### 会場別使用日数

	開館日数	大ホ	ール	中会	法場	小会場	(1)	小会場	(2)	和	室
		使用日数	稼働率								
平成29年度	359	120	33.4%	114	31.8%	71	19.8%	75	20.9%	50	13.9%
平成30年度	359	129	35.9%	127	35.4%	77	21.4%	117	32.6%	52	14.5%
令和元年度	360	125	34.7%	148	41.1%	70	19.4%	87	24.2%	53	14.7%
平均	359	125	34.8%	130	36.2%	73	20.3%	93	25.9%	52	14.8%

- ※ 開館日数には、点検日を含む。
- コロナ前の3年間におけるホール利用日数は120日~129日。稼働率は平均34.8%
- 中会場、小会場、和室はホールほど利用されず、稼働率30~20%程度

# 利用日数および稼働率(コマ)





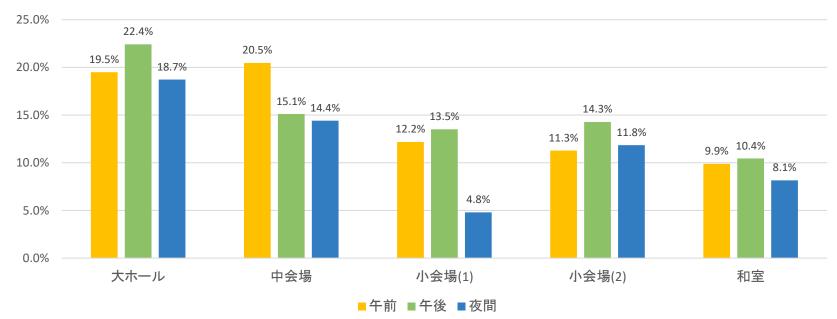
#### 会場別使用コマ数

	日日会会		大ホール		中会場		小会場(1)		小会場(2)		和室	
	開館 日数	コマ数	使用 回数	稼働 率								
平成29年度	359	1,077	285	26.5%	218	20.2%	152	14.1%	162	15.0%	134	12.4%
平成30年度	359	1,077	299	27.8%	229	21.3%	145	13.5%	200	18.6%	132	12.3%
令和元年度	360	1,080	287	26.6%	271	25.1%	141	13.1%	175	16.2%	143	13.2%
H29 ~R1年度 平均	359	1,078	290	26.9%	239	22.2%	146	13.5%	179	16.6%	136	12.6%

- コロナ前3年間におけるホール利用コマ数は218~271。平均稼働率は約27%
- 中会場、小会場、和室はホールほど利用されず、稼働率12.6%~22.2% 小規模な施設の稼働率が低い傾向

### 時間帯別稼働率(コマ)



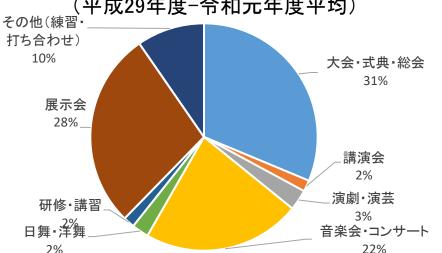


			大ホール		中会場		小会場(1)		小会場(2)		和室	
	区分	使用 回数	稼働率	使用 回数	稼働率	使用 回数	稼働率	使用 回数	稼働率	使用 回数	稼働率	開館 日数
	午前	70	19.5%	74	20.5%	44	12.2%	41	11.3%	36	9.9%	
3年の平均	午後	81	22.4%	54	15.1%	49	13.5%	51	14.3%	38	10.4%	359
	夜間	67	18.7%	52	14.4%	17	4.8%	43	11.8%	29	8.1%	

- コロナ前3年間において、いずれの諸室でも夜間の利用がやや落ち込む傾向にある。
- 中会場は他の諸室に比べ、午前の時間帯の利用が多い傾向にある。

### ジャンル別利用回数

大ホールのジャンル別利用回数(日数) (平成29年度-令和元年度平均)



270			_	_,0
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平均
大会・式典・総会	35	38	44	39
講演会	1	2	3	2
演劇•演芸	1	4	6	4
音楽会・コンサート	33	29	22	28
映画会	0	0	0	0
日舞•洋舞	2	3	4	3
研修∙講習	2	2	2	2
展示会	36	39	30	35
会議	0	0	0	0
スポーツ・体操	0	0	0	0
その他(練習、打合せ)	10	12	14	12
·	120	129	125	125

大ホール以外のジャンル別利用回数(4会場日数合計) (平成29年度-令和元年度平均)

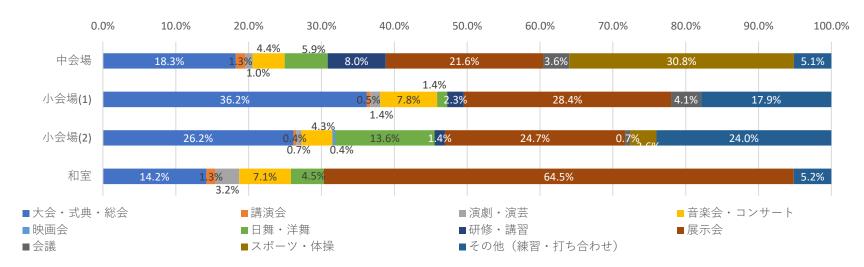
その他(練習・打 ち合わせ)	大会・式典・総会 24%
スポーツ・体操	講演会
13%	_1%
会議	演劇・演芸
2%	1%
	音楽会・コンサート
展示会	5%
30%	研修•講習 日舞•洋舞 7%
	4%

	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平均
大会・式典・総会	73	77	95	82
講演会	3	4	2	3
演劇·演芸	0	7	7	5
音楽会・コンサート	18	21	18	19
映画会	0	1	0	0
日舞·洋舞	20	26	25	24
研修∙講習	12	12	16	13
展示会	106	112	97	105
会議	5	13	7	8
スポーツ・体操	36	43	51	43
その他(練習、打合せ)	37	57	40	45
	310	373	358	347

- 大ホールは、「大会・式典・総会」、「音楽会・コンサート」、「展示会」 の利用がほとんどを占めている。
- の利用がほとんどを占めている。 ● 大ホール以外では、「展示会」が最も多い。

### ジャンル別利用回数

#### 大ホール以外の会場ごとのジャンル別利用回数(日数) (平成29年度-令和元年度平均)



	大ホール以外の会場ごとのジャンル別利用 (平成29年度-令和元年度平均)								
	中会場	和室							
大会·式典·総会	18.3%	36.2%	26.2%	14.2%					
講演会	1.3%	0.5%	0.4%	1.3%					
演劇∙演芸	1.0%	1.4%	0.7%	3.2%					
音楽会・コンサート	4.4%	7.8%	4.3%	7.1%					
映画会	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%					
日舞•洋舞	5.9%	1.4%	13.6%	4.5%					
研修∙講習	8.0%	2.3%	1.4%	0.0%					
展示会	21.6%	28.4%	24.7%	64.5%					
会議	3.6%	4.1%	0.7%	0.0%					
スポーツ・体操	30.8%	0.0%	3.6%	0.0%					
その他(練習・打ち合わ せ)	5.1%	17.9%	24.0%	5.2%					

- 大ホール以外では、「展示会」の利用が最も多い。
- 和室で「展示会」の利用が突出して 多いのは、市展の際に利用している ため。

### 使用料金

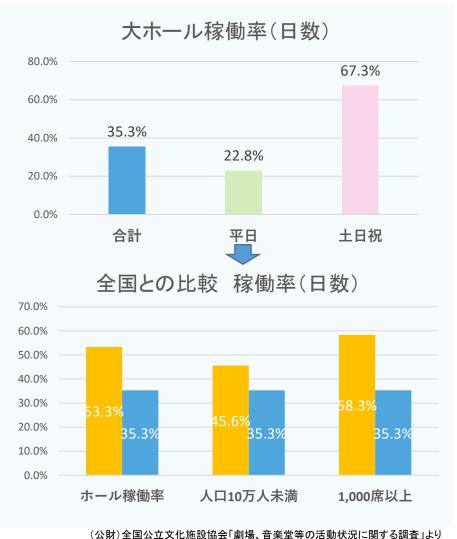


	会場(基本)料金	基本料金以外	市外利用の割合	営利利用の割合
平成29年度	4,706,940	4,848,610	23.6%	24.5%
平成30年度	4,615,910	4,459,320	15.5%	18.7%
令和元年度	4,819,920	3,577,870	35.5%	17.3%

- コロナ前3年度は、基本料金とそれ以外の料金が概ね半々だった
- ※基本料金以外:冷暖房・備品・電気

# 4. 厚生会館(施設)の現状と課題の整理 4-3.利用状況(平成30年度)

### ホールの稼働率(平成30年度)



大ホール稼働率(コマ数)
32.0%
30.0%
27.8%
27.0%
26.0%
24.0%
合計 午前 午後 夜間

日数稼働率	合計	平日	土日祝	
貸出可能日数	359	258	101	
利用日数	127	59	68	
稼働率(日)	35.3%	22.8%	67.3%	

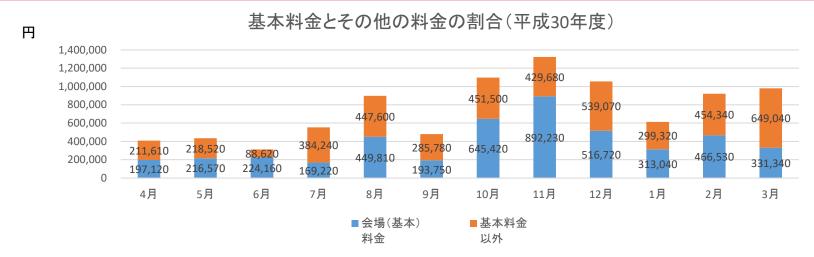
※保守点検などの利用を含まない。

コマ数稼働率	合計	午前	午後	夜間
貸出可能コマ数	1,077	359	359	359
利用コマ数	299	97	108	94
稼働率(コマ)	27.8%	27.0%	30.1%	26.2%

※保守点検などの利用を含む。

- ホール稼働率(日)は全体で3~4割程度あり、全国平均を下回っている
- 午前、夜間区分利用が比較的少なく、土日祝日に利用が集中している

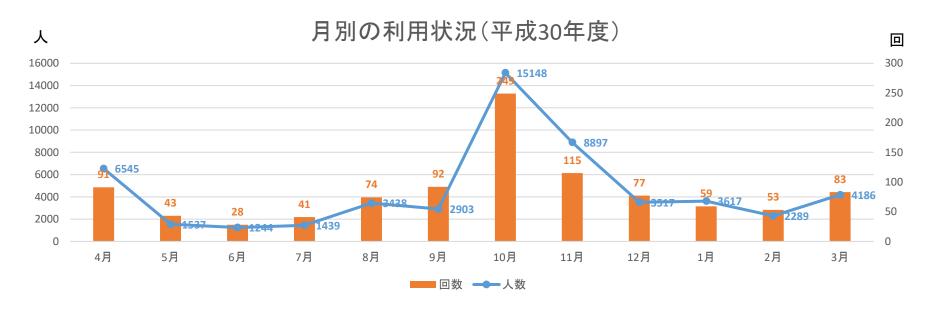
### 使用料金



	会場(基本)	基本料金	市外利用	営利利用
	料金	以外	の割合	の割合
4月	197,120	211,610	6.3%	12.5%
5月	216,570	218,520	21.4%	21.4%
6月	224,160	88,620	16.7%	16.7%
7月	169,220	384,240	18.8%	12.5%
8月	449,810	447,600	15.8%	15.8%
9月	193,750	285,780	33.3%	41.7%
10月	645,420	451,500	12.5%	18.8%
11月	892,230	429,680	6.3%	18.8%
12月	516,720	539,070	5.0%	10.0%
1月	313,040	299,320	15.4%	15.4%
2月	466,530	454,340	23.5%	29.4%
3月	331,340	649,040	18.8%	18.8%
合計	4,615,910	4,459,320	15.5%	18.7%

- 内訳は基本料金と基本料金以外とで概 ね半々
- 市外利用、営利利用は年間平均すると 20%弱
- ※基本料金以外:冷暖房・備品・電気
- ※営利を目的とする場合 非営利の5倍の額
- ※本市の住民以外の者が使用する場合 3割を加算した額
- ※土曜日、日曜日又は休日に使用する場合 1割を加算した額

### 月別の利用状況

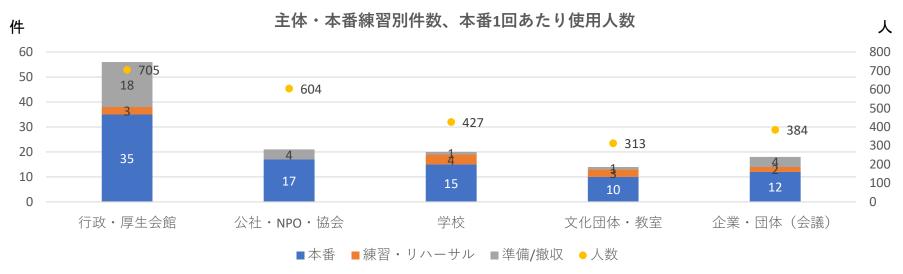


#### 施設別利用回数(平成30年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大ホール	29	7	3	15	30	32	57	32	26	23	20	25
中会場	19	19	12	12	17	21	47	27	9	15	12	19
小会場(1)	18	4	5	4	16	10	17	16	28	7	7	13
小会場(2)	19	10	5	6	7	23	50	25	12	12	12	19
和室	6	3	3	4	4	6	78	15	2	2	2	7
合計	91	43	28	41	74	92	249	115	77	59	53	83

- 秋にピークがあり、特に10月はほとんどの諸室が最大利用回数となっている
- 10月の和室の利用が多いのは市展の保管場所として利用しているため

### 大ホール利用団体・催し種別の利用件数/人数(平成30年度)

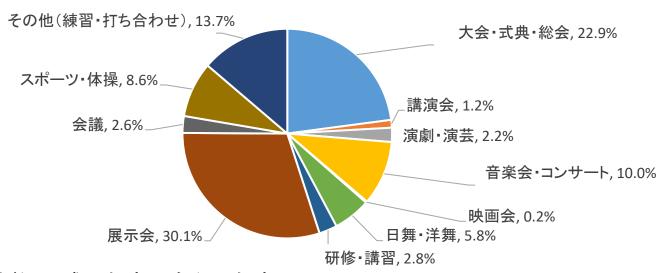


		件	-数			人	数		1件当たりの利用人数(人数/件数)		
	本番	練習 リハーサル	準備 撤収	計	本番	練習 リハーサル	準備 撤収	計	本番	練習 リハーサル	準備 撤収
行政•厚生会館	35	3	18	56	24,661	95	594	25,350	705	32	33
公社·NPO·協会	17	0	4	21	10,276	0	110	10,386	604	_	28
学校	15	4	1	20	6,400	165	20	6,585	427	41	20
文化団体·教室	10	3	1	14	3,130	270	4	3,404	313	90	4
企業・団体(会議集会)	12	2	4	18	4,610	75	140	4,825	384	38	35
計	89	12	28	129	49,077	605	868	50,550	_	_	_

- 利用件数が最も多いのは行政・厚生会館で、他は拮抗している
- 本番1回あたりの利用人数は、行政・厚生会館が最も多い
- 練習利用は全体的に少ない

### ジャンル別利用状況

#### 利用ジャンルの割合(平成30年度)



#### 利用ジャンルの件数(平成29年度~令和元年度)

	各	年度の件	数	平	均
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	件数	割合
大会·式典·総会	108	115	139	121	25.6%
講演会	4	6	5	5	1.1%
演劇∙演芸	1	11	13	8	1.8%
音楽会・コンサート	51	50	40	47	10.0%
映画会	0	1	0	0	0.1%
日舞•洋舞	22	29	29	27	5.7%
研修▪講習	14	14	18	15	3.3%
展示会	142	151	127	140	29.7%
会議	5	13	7	8	1.8%
スポーツ・体操	36	43	51	43	9.2%
その他(練習、打合せ)	47	69	54	57	12.0%
	430	502	483	472	100.0%

- 「展示会」の割合が約30%と最も多く、 「大会・式典・総会」が22.9%とこれ に続いた。
- 「講演会」、「研修・講習」、「会議」 などの利用は少なかった。

# 大ホールの本番動員数上位20(平成30年度)

	イベント種別	イベント名	利用団体	利用人数
1	大会·式典·Fes	福知山スィーツフェスティバル2018	実行委員会	6,000
2	展示会	第54回福知山市立学校(園)美術展	教育委員会	2,800
3	展示会	第54回福知山市立学校(園)美術展	教育委員会	2,300
4	大会·式典·Fes	福知山お城まつり	福知山お城まつり実行委員会	2,000
5	音楽会・コンサート	第49回福知山市立小学校音楽祭	教育委員会	1,650
6	音楽会・コンサート	第38回福知山市合唱祭	合唱祭実行委員会	1,500
7	その他	文具フェア	市内事業者	1,300
8	大会·式典·Fes	第28回文協フェスタ	福知山市文化協会	1,300
9	大会·式典·Fes	ふれあい福祉フェスタ	運営委員会	1,200
10	音楽会・コンサート	平成30年度芸術鑑賞	市内高等学校	1,100
11	大会·式典	平成31年福知山市消防出初式	福知山市	1,000
12	展示会	市展	福知山市ほか	850
13	音楽会・コンサート	自主事業文化公演	自主事業実行委員会	850
14	音楽会・コンサート	合唱団定期演奏会	市内合唱団	850
15	その他	中丹通学圈府立高校合同説明会	市内高等学校	800
16	大会·式典·Fes	学校祭	市内高等学校	800
17	音楽会・コンサート	コンサート	福知山市文化協会	700
18	音楽会・コンサート	大正琴演奏会	市内団体	700
19	その他	府知事•府議補欠選挙	福知山市選挙管理委員会	733
20	大会·式典	福知山市市民憲章推進大会	市民憲章推進協議会	600
21	大会·式典·Fes	ドッコイセフェスティバル	踊振興会	600
22	その他	敬老祝賀会	市内団体	600

# ホールと諸室 同時利用の例(平成30年度)

催事	種別	大ホール	中会場	小会場 (1)	小会場 (2)	和室
平成30年度福知山公立大学入学式	大会·式典	0		0		
府知事•府議補欠選挙	その他	0		0		
中丹通学圏府立高校合同説明会	その他	0	0		0	0
ドッコイセフェスティバル	大会·式典	0	0	0	0	0
大文字法要	大会·式典	0	0			
御詠歌大会	演劇∙演芸	0	0		0	0
クラッシックバレイ発表会	日舞·洋舞	0	0			
福知山市中学校音楽発表会	音楽会・コンサート	0	0		0	0
学校教育振興会教育講演会	講演会	0		0		0
コンサート	音楽会・コンサート	0		0		
福知山市保育園	大会·式典	0		0		
福知山スィーツフェスティバル2018	大会·式典·Fes	0	0	0	0	
第32回中丹文化芸術祭「軽音楽フェスティバル」	大会·式典·Fes	0	0		0	0
平成30年度福知山市戦没者追悼式	大会·式典	0	0	0		
第54回福知山市立学校(園)美術展	展示会	0	0		0	

# ホールと諸室 同時利用の例(平成30年度)

催事	種別	大ホール	中会場	小会場 (1)	小会場 (2)	和室
福知山市ふれあい福祉フェスタ	大会·式典·Fes	0	0	0	0	
クラッシックバレイ発表会	日舞·洋舞	0	0			
福知山市中学校音楽発表会	音楽会・コンサート	0	0		0	0
コンサート	音楽会・コンサート	0	0		0	
第49回福知山市立小学校音楽祭	音楽会・コンサート	0		0		
第18回福知山市佐藤太清賞美術展	展示会	0		0		
社内研修	その他	0	0	0	0	
平成31年福知山市消防出初式	大会·式典	0	0	0	0	0
第15回定期演奏会 市内高等学校吹奏楽部	音楽会・コンサート	0	0			
第14回文化·芸術展 市内高等学校	展示会	0	0		0	0

### 厚生会館の利用状況のまとめ

#### ● 稼働率について

- 大ホールの稼働率が最も高い
- 中会場は、大ホールと同程度の稼働率がみられるが、それ以外の諸室は、ホール、中会場ほどは利用されていない

### ● 利用者数(動員数)について

大ホールの利用について、満席に近い利用は少ない

#### ● 施設の利用目的など

• 大ホールは、「大会・式典・総会」、「音楽会・コンサート」、「展 示会」の利用がほとんど

#### ● 減額免除について

- 厚生会館においては、減免を行っておらず、市外利用者に対して加算 する対応をとっている
- 市外利用、営利利用は全体の約20~30%で推移している

# 5. 新文化ホール整備基本構想・基本計画検討スケジュール

### 新文化ホール整備基本構想・基本計画検討スケジュール



### 1. 市民ワークショップについて①

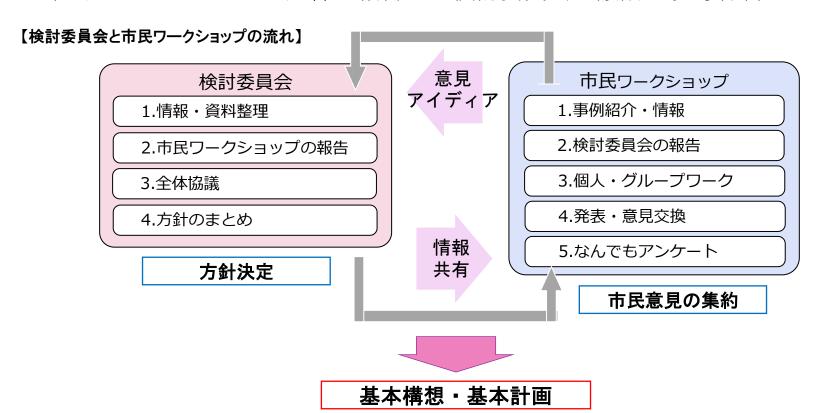
### 検討委員会と市民ワークショップの関連

### ■市民からの幅広い意見収集に向けて

市民からの幅広い意見を聴取するため、様々な立場の市民の参加を図ります。

#### ■検討委員会を経て方針決定に至るサイクル

市民ワークショップの内容を報告して検討委員会で議論の参考材料とします。



### 1. 市民ワークショップについて②

### 市民ワークショップの参加者、スケジュール

#### ●対象

- ・新文化ホールをよりよい施設にするため、積極的に意見交換をしてくださる方
- ・ワークショップを楽しんで参加してくださる方

### ●参加者のイメージ

- ・新文化ホールに興味のある方
- ・文化活動団体
- ・大学生、高校生、中学生など

#### ●募集人数

・各回20名~30名程度

### ●募集方法

・チラシ配布、市広報・HPなど

#### ●スケジュール

・8月より、計5回

### 1. 市民ワークショップについて③

### 市民ワークショップのテーマ案

#### 第1回「福知山市や現施設の良いところ・改善した方が良いところ」

福知山市や現施設のじまん・ふまんについて意見を出し、福知山市 らしさやまち、施設の良いところや課題について考えます。

### 第2回「新施設の将来像と年間利用計画をシミュレーションする」

新しい施設でやってみたいこと、参加したい取組などについてアイデアを出 し、年間の施設での活動イメージをまとめ、将来像を思い描いてみます。

### 第3回「必要な機能や施設を考える」

年間スケジュールで想定した活動を行うために必要な機能や、のぞ まれる施設などを考えます。

### 第4回「使いやすい諸室の配置を考えよう」

第3回の内容をふまえ、施設構成、仕様について考える。

### 第5回「今後の市民参加について考えよう」

市民の皆さんが施設へどのように関わりたいかを考える。

### 2. アンケート調査について

### 市民アンケート(Webのみ)

- ●対象
  - ・15歳以上の福知山市民(外国人を含む)
- ●調査期間
  - ・令和4年8月~9月(1ヶ月程度)
- ●調査方法
  - ・Web上で入力フォームを作成し、市のTwitter、LINE、HPなどで周知
- ●設問内容の案
  - ・記入者の基本情報(年代、職業、お住まいの地域)
  - ・厚生会館について
    - ・主な利用目的
    - ・催しの鑑賞体験について
    - ・練習・稽古・創作活動について(活動時期、頻度、日常の活動場所)
  - ・新文化ホールについて
    - ・施設面・事業面で期待すること など

### 3. 各種団体ヒアリングについて

#### ●対象

- ・福知山市文化協会加盟団体
- ・厚生会館利用団体
- ・福知山商工会議所
- ・福知山市商工会
- ・学校・教育関係者
- ・障がい者団体
- ・老人クラブ
- ・子育て世代など

#### ●調査方法

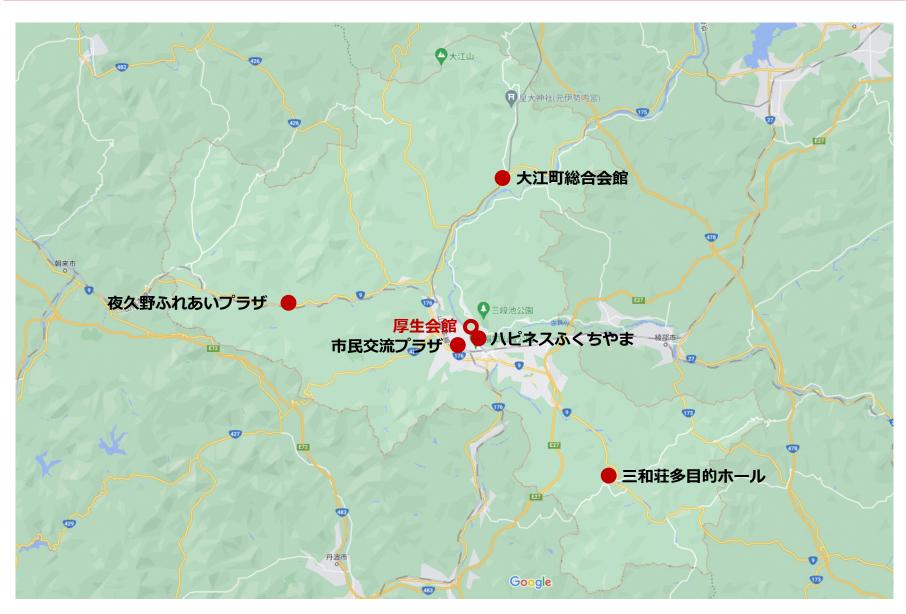
- ・一度に複数団体を対象に実施する。
- ・1日数回、2日程度。

#### ●スケジュール (実施予定日)

· 8月~9月



# 1. 市内の類似施設

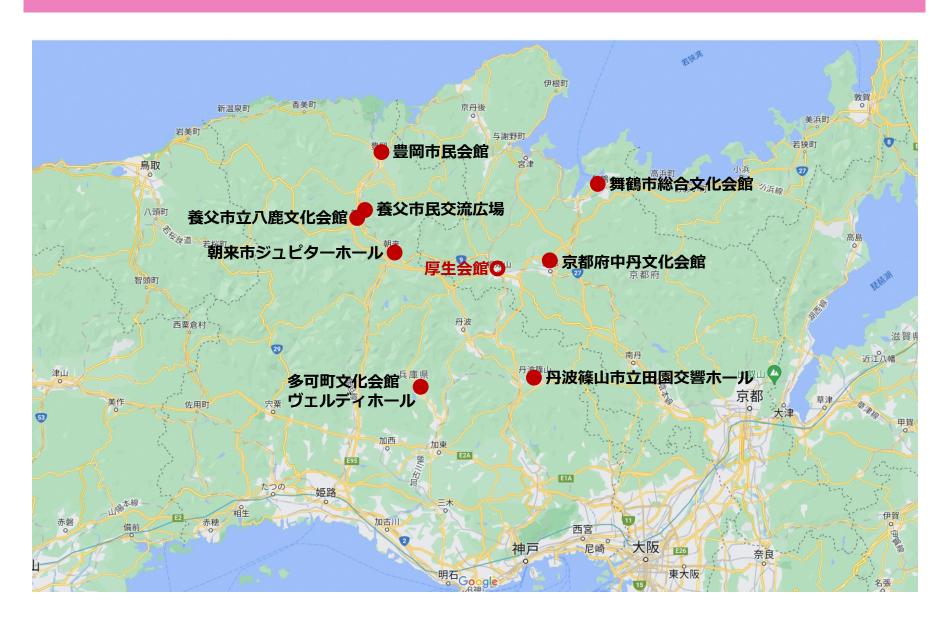


## 1. 市内の類似施設

市内には200席から369席までの小規模ホールが5施設、固定席の劇場は ハピネスふくちやまのみ

	福知山市	ハピネス	市民交流プラザ	三和荘	夜久野	大江町	
	厚生会館	ふくちやま	交流スペース	多目的ホール	ふれあいプラザ	総合会館	
場所	字中ノ170の5	字内記100番地	駅前町400番地	字寺尾4	字額田19-2	字河守285	
敷地面積	2,964 m <sup>2</sup>	14,693 <b>m</b> i	4,879 m <sup>2</sup>	2,300 m <sup>2</sup>	2,877m <sup>2</sup>	1,662 m <sup>2</sup>	
延床面積	3,763 <b>m</b> i	3,294 m <sup>2</sup>	6,426 m <sup>2</sup>	2,563 <b>㎡</b>	2,964m <sup>2</sup>	1,543 <b>㎡</b>	
室面積 (ホール)	446 m <sup>2</sup>	263 m²	197 <b>m</b> ²	345 <b>m</b> ²	187 <b>㎡</b>	446 m <sup>2</sup>	
建設年	昭和37年 (1962)	昭和47年 (1972)	平成26年 (2014)	平成17年 (2005)	平成17年 (2005)	昭和62年 (1987)	
ホール 形式	平土間形式	劇場形式	平土間形式	平土間形式	平土間形式	平土間形式	
客席数	1,002 (可動696、固定 306)	369(固定)	200(可動)	300(可動)	335(可動)	350(可動)	
舞台	W17×D8×H6 (H11すのこ)	W12 × D6.5 × H12	W6 × D2.3	W8 × D3.4 × H5.4	W13 × D6 × H5.5	W10.5 × D7 × H8	
管理運営	直営	直営	直営	指定管理	直営	直営	
施設機能	会議室3 和室1 楽屋3	会議室	会議室 調理室 和室 図書館	多目的ホール (室内4分割) ギャラリー	研修室 調理室 和室 図書室	会議室 図書室	
備考	平成13年(2001) 大規模改修	平成27(2015) 改修					

## 2. 近隣市町の類似施設



### 2. 近隣市町の類似施設

近隣市町には1000席を超えるホールは3施設あり、他は600席~800席程度のホールを有する施設である。

	福知山市 厚生会館	京都府 中丹文化会館	舞鶴市総合文 化会館	朝来市ジュピ ターホール	多可町 文化会館 ベルディホール	丹波篠山市立 田園交響ホー ル	養父市立 八鹿文化会館	養父市民交流 広場	豊岡市民会館	豊岡市新文化 会館 (設計段階)
場所	福知山市字中 ノ170番地の5	綾部市里町久 田21-20	舞鶴市字浜 2021	朝来市和田山町玉置877-1	多可郡多可町 中区中村町135	丹波篠山市北 新町41	養父市八鹿町 八鹿1675	養父市八鹿町 八鹿538-1	豊岡市立野町 20-34	豊岡市大磯町
敷地面積	2,964m <sup>2</sup>	4,050 m²	11,489 m <sup>2</sup>	9,090 m²	9,944m <sup>2</sup>	6,918m <sup>2</sup>	_	28,647 m <sup>2</sup>	8,000 m²	10,000 m <sup>2</sup>
建築面積	2,170m <sup>2</sup>	2,791 m <sup>2</sup>	4,385 m²	2,724m²	2,145m <sup>2</sup>	2,461 m <sup>2</sup>	1,630m <sup>2</sup>	_	2,610m²	4,700 m <sup>2</sup>
延床面積	3,763 m <sup>2</sup>	3,478 m²	6,923 m <sup>2</sup>	4,269 m²	2,994m <sup>2</sup>	3,117m <sup>2</sup>	2,430m²	4,202 m <sup>2</sup>	6,464 m <sup>2</sup>	6,050 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨鉄筋コンク リート造3階建	鉄筋コンクリー ト造2階建	鉄筋コンクリー ト造2階建、一 部5階建	鉄骨鉄筋コンク リート造4階建	鉄筋コンクリー ト造、一部3階 建	鉄骨鉄筋コンク リート造2階 建、一部3階建	鉄骨鉄筋コンク リート造	鉄筋コンクリー ト造2階建	鉄筋コンクリー ト造4階建	鉄筋コンクリー ト造3階建、一 部鉄骨造
建設年	昭和37年 (1962)	昭和58年 (1983)	昭和58年 (1983)	平成4年(1992)	平成2年(1990)	昭和63年 (1988)	昭和49年 (1974)	令和3年(2021)	昭和46年 (1971)	令和7年(2025) (予定)
ホール形式	プロセニアム	プロセニアム	プロセニアム	プロセニアム	プロセニアム	プロセニアム	プロセニアム	プロセニアム	プロセニアム	プロセニアム
客席数	1,002(可動 696、固定306)	1,000(固定 886·補助108· 車椅子6)	1,410	800(固定794· 車椅子6)	616	800(移動108· 車椅子4)	876(固定872· 車椅子4)	651	1,118	780
舞台	主舞台W17× D8×H6 (H11すのこ)	主舞台W17× D14.5× H17(すのこ)	主舞台W17.3× D12.5×H8.6	主舞台W19× D10×H7(H20 すのこ)	主舞台W12× D15·10.2× H8.1	主舞台W16.5× D10×H8.6 H18(すのこ)	主舞台W17× D13	W28.8 主舞台W16.2× D13×H11.5	主舞台W17× D9.3×H7.2	W36×D18× (H未定) 主舞台W14.5× D14.5
管理運営	直営	指定管理	直営(R3.4~)	直営	直営	直営	直営	直営	直営	未定
週休日	無	月	月	無	月·火	月·火	水	月	火	未定
開館時間	8:30~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00	未定
施設機能	会議室3 和室1 楽屋3	練習室3	練習室1 会議室1・研修 室2 和室1・展示室2 小ホール350席	研修1 応接1 浴室2 小ホール200席	会議室兼リ ハーサル室300 人	楽屋 特別応接	楽屋3、リハー サル室 パソコン室、展 示室	公民館(大会議 室・リハー議室・ 中会議室・和 室・調理室) 図書館	リハーサル室 多目的室・会議 室4 和室2・ギャラ リー2 その他2	多目的ホール 練習室兼会議 室5 創作室兼ギャ ラリー 和室
駐車台数	≒10	300	263	88 300(公園含)	150	23、350(三の 丸西駐車場有 料駐車場)	136(市役所と 兼用)	251	120	50